

だより 議 会 民 町

News from
townsman meeting

2023.10.4
No.173

●編集・発行
下郷町青少年育成町民会議
(町教育委員会事務局内)
〒969-5345
福島県南会津郡下郷町
大字塩生字大石 1000 番地
TEL.0241-69-1168
FAX.0241-69-1167

～未来を担う青少年の育成～

青少年の主張発表及び青少年健全育成作品コンクール

第 39 回青少年の主張発表者

◆小学生の部

No	氏 名	学校名	学年	題 名
1	おやま なお 目	江川小	5	未来の下郷町のために、今できること
2	わたなべ はると 遥斗	檜原小	5	地域での活動とぼくの成長
3	いいたい だいが 大河	旭田小	5	一人一人ができることを
4	いがらし あると 歩音	江川小	6	食品ロスについて
5	ゆたみ なみ 美漣	檜原小	6	男女平等な社会へ
6	ゆみ たここ 心響	旭田小	6	あいさつの大切さ

◆中学生の部

No	氏 名	学校名	学年	題 名
1	いがらし みく 美空	下郷中	1	ジェンダー平等を実現するために
2	おやま みく 美来	下郷中	2	下郷町のゴミ0を目指して
3	はが かな 奏太	下郷中	3	不安をこえていく

第39回青少年の主張発表・ 青少年健全育成作品コンクール表彰式

7月7日(金)下郷ふれあいセンターにおいて第39回青少年の主張発表及び青少年健全育成作品コンクール表彰式が開催され、町内の小学4年生以上の児童と中学生約180名が参加しました。

また、入場制限をなくし、新型コロナウイルス感染症拡大前の規模で実施し、多くの来賓や保護者が来場しました。

主張発表は、町内の各小中学校で選考会が行われ、選考された児童・生徒が学校の代

表として発表しました。

発表者は、日頃感じていることや調べたこと、将来について考えることを自分の言葉で伝えました。主張発表終了後、入賞者には盾や賞状が配られました。

また、青少年健全育成作品コンクール(ポスター・標語)では、100点以上の応募があり、どれも素晴らしい作品で、審査には困難を極めました。なお、入賞者と最優秀作品は10頁に掲載されています。

青少年の主張 優秀賞

小学生の部

未来の下郷町のために、
今できること



み

なさんは、会津じゅうかんな南道路の工事をやっているのを知っていますか。工事が始まったのは、二〇一八年十一月二十九日で、十年程度で完成予定だそうです。

この工事は、会津若松市から下郷町を通って南会津町までの約五十キロメートルを結ぶ道路を作っているそうです。そのと中にあるのが田代トンネルです。

ぼくは、毎日、登下校のバスの中から田代トンネルを作っているのを見ってきました。初めは、入口の所にある「あと何メートル」というかんばんを見たり、コンクリートブロックをたてに積んだり

しているのを見ました。その時は、「コンクリートブロックをどうやって運ぶのかな。」などと何気なく見ていました。だんだん工事が進むにつれて、入口のところに工事の車やトラクターがなくなっていることに気づきました。「だんだんトンネルができてきたんだな。どんなトンネルかな。早く行ってみたいな。」と思っていました。でも、三年生の総合の時間の時のことを思い出しました。

三年生で初めて総合をやる時、どんなことを学習するかを三年生から六年生まで、みんな集まって話し合いました。その時、ある六年生が、「田代トンネルができたから、下郷町を通りすぎてしまうから、下郷町にお客さんが来なくなってしまう。そうなったらこまるから、下郷町をもう上げることをしたい。」と言っていました。ぼくは、その時のことを思い出して、田代トンネルが出来上がるのはうれしいけれど、それで下郷町にお客さんが来なくなるのはこまるなと思いました。

そこで、ぼくは、田代トン

ネルが出来ても、下郷町にお客さんが来るにはどうしたらいいか考えました。ぼくが考えた方法は二つあります。

一つ目は、よらっしえなどのお店を人気のお店にしてみようという事です。ぼくは、よらっしえで、下郷町のキャラクターのしもごろうの人形や、グッズを売つたらいいと思います。ぼくは、しもごろうが好きです。丸くてかわいいからです。だから、よらっしえでもごろうのグッズを売ると、お客さんにも人気が出て、すぐ売れると思います。

あと、しんごろうも売つたらいいと思います。ぼくは、小さいころ、一度だけ、しんごろうを食べたことがあります。とてもあまくておいしかったです。また食べたいなと思っています。あまり食べることができないので、よらっしえでいつも売つてほしいと思います。

また、ぼく達は、総合の学習で野菜を育てています。PTAかんきょう美化活動や、江川つ子まつりの時などに、お家の人に買ってもらう活動をしています。ヘチマを育てて、そのヘチマでかんきょうにやさしいたわしを作る活動もしています。今年、百万年ウオークで売つて、たぐさんの人に買ってもらいました。そんな商品もよらっしえで売つても

らつて、江川小学校の活動を知ってもらいたいと思います。商品に下郷町のよいところやおすすすめのところを書いて、下郷町のせん伝をすると思います。

そして、よらっしえやほかのお店を江川小のぼく達が手伝つてあげたら、よらっしえやほかのお店の人達も助かるんじゃないかと思いました。

二つ目の方法は、下郷町のCMを作る事です。前にCM大賞をとつたので、またCM大賞をとれば、下郷町にお客さんが来るんじゃないかと思いました。今年、下郷町の古くから伝わるよいものをテーマにCMを作る予定です。下郷町には、大内宿やとうのへつり、湯野上温泉など、古くからあるよいものがたくさんあるので、今から楽しみます。

未来の下郷町のために、今、ぼくができることをがんばりたいと思います。



地域での活動と

ぼくの成長



楯原小学校 5年
渡部 遥斗

ぼくは、四年生の十月ころに「下郷サッカースポーツ少年団」に入りました。きっかけは、お母さんの友達に紹介されて、見学に行ったことです。知っている友達がたくさんいて、みんな楽しそうにサッカーをしています。その姿を見て、ぼくもサッカーをやりたいと思います。入団しました。

最初の試合は、とても緊張しました。プレイをしていると、じよじよに緊張が解けてきました。仲間には正確にパスしようとしてひつしにプレイしました。試合後、休けいしている時、友達に「サッカー楽しい？」と聞かれたので「楽しい！」と答えた。友達がとてもよろこんでくれました。練習や試合を重ねていくうちに、同じチームのサッカー友達と、とても仲良くなりました。

そのころから、もつとたくさん練習して、サッカーがうまくなりました。

強くなりたいと思うようになりました。そして、ぼくの夢は、プロサッカー選手になって、ワールドカップに出たい。世界を驚かせたい。という大きい夢になりました。

去年の十二月、サッカーワールドカップ日本代表の試合を見て、世界と戦う日本代表はとてもかっこよかったです。夜更かしや早起きをして一生けん命応援していたので、決勝トーナメントでクロアチアに負けてしまい、とても残念でした。

下郷サッカー少年団に入り、練習や試合などの活動を通して、学んだことや思ったことが、三つあります。

一つ目は、試合に勝てる、強いチームになるのは、とても難しいということです。ぼくたちのチームは、試合で負けることが多く、あまり勝つたことがありません。勝つためには、たくさん練習と、みんなのチームワークが必要になると思いました。コーチに、「お前たちは、チームワークがなつてないから勝てないんだ。」と言われたことがあります。ぼくたちのチームは、いつもけんかばかりです。そのせいで協力できないことがあります。けんかにならないように日ごろの練習から、気を付けて接しています。また、普段の練習から友達とコミュニケーションをたくさんとるようにしています。

二つ目は、あきらめないことの大切さです。今までのぼくは、ちょっとしたことでも、「ぼくにはできない」とすぐにあきらめていました。しかし、練習や試合で、強い気持ちを持ち、最後までプレイを続ける友達を見て、「気持ちが強いから最後まで絶対にあきらめないんだ」と学びました。ぼくも友達のように、最後まであきらめない強い気持ちをもち、あきらめない気持ちで試合で勝つことにつながると思います。

三つ目は、サッカーをやっている人とのつながりについてです。日本のサッカーをしている人数は約八十一万七千人で、どんどん減っています。スポ少でサッカーをしている人や、部活動でサッカーをしている人も減ってきているそうです。コーチたちが、「人数が減ってきてチームにならない、チームが減ってきて試合ができない。」と言っているのを聞いたことがあります。

ぼくは、サッカーを始めて友達がたくさん増えました。サッカーをしていることでたくさんの人とのつながりができました。つながりを大切にして、これからもサッカーを楽しみたいのです。

ぼくは、サッカーを始めて本当に良かったと思っています。筋肉がつ

き、体がじょうぶになりました。自信もついて、声が大きくなりました。そして、精神的にも強くなりました。大好きなサッカーを楽しみ、仲間と練習をがんばり、試合で勝利したいです。そして、夢をかなえたいです。

一人一人ができることを



旭田小学校 5年 飯田 大河

みなさんは、ごみ問題について考えたことはありますか。ぼくは、ごみ問題は、地球に住む人々みんなの問題だと思えます。なぜなら、このままだと地球がごみで埋め尽くされてしまうからです。

最近、テレビのニュースを見ると、世界中でマイクロプラスチックによる海洋汚染が話題になっています。マイクロプラスチックとは、細かいプラスチックのことで、私たちが毎日使っている歯みがき粉や洗顔剤にも使われています。また、捨てられたプラスチックが劣化するこ

とも発生します。それが、海に流れ込み、生き物への影響が心配されています。このままいくと何年か後には、魚よりもプラスチックごみの方が多くなってしまうというデータもあります。さらに、海に流れ出たマイクロプラスチックは回収がとて難しいという問題があります。

日本でも、ごみ問題は深刻です。特に問題になっているのは、埋め立て地の問題です。ごみ問題について調べていて驚いたのですが、なんと、日本の埋め立て地は、あと二十年くらいでいっぱいになってしまうそうです。二十年后、僕たちが三十歳を過ぎた頃には日本の埋め立て地はなくなり、日本がごみであふれているかもしれないのです。現在、日本では家庭ごみが一年間に東京ドーム百二十杯分、約四千四百トンも出ているそうです。それほど多くないなと思っただ方もいると思います。が、毎年これだけの量が出たとしたら、どこに埋め立てられるのでしょうか。埋め立て地がないといって下郷町に埋め立ててほしいと言われてもみんな反対するのではないのでしょうか。埋め立て地の問題はとても難しい問題です。

これらのごみ問題に対して、ぼくたちに何ができるでしょうか。ぼくはぼくたち一人一人がごみ問題につ

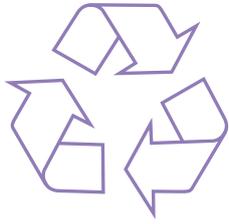
いて真剣に考え、行動にうつすことが大切だと思い、自分たちにできることを大きく二つ考えました。

一つ目はファイブRのてっ底です。ファイブRとは、「リデュース」「リデュース」「リユース」「リペア」「リサイクル」の略です。まず、「リデュース」は、不要な物をもらわない、買わないことです。余計な物を買わなければごみになることがないため、とても大切なことです。次に「リデュース」は、できるだけ無駄なごみの量を少なくすることです。買い物をするときに、エコバッグを持っていくことや、なるべく詰め替え用の商品や包装の少ない物を選んで買うことを心がけることが大切です。「リユース」は、一度使ったものをごみにしないで何度も使うことです。ぼくは小さい頃から着て着られなくなった服をもらって着ています。ぼくが着られなくなった服やくつは弟が使っています。まだ使える物はフリーマーケットに出せば、必要としている人が使ってくれます。リユースにより、「もやす」「埋め立てる」などの、ごみ処理の量を減らすことができます。「リペア」は修理して長く使うことです。服やバッグなど少し手を加えれば長く使うことができます。「リサイクル」は、使い終わったものをもう一度資源に

もどし製品を作ることです。ぼくたちが使い終わったものを分別してゴミ出しすれば、もう一度資源にもどすことができます。その分ゴミを燃やす量と、埋め立てる量を減らすことができますのです。リサイクルは、多くの人たちの協力で成り立っています。一人一人がゴミの分別を心がけることがとても大切です。

二つ目は当たり前のことですが、ポイ捨てをしないこととゴミを見つけたら拾うことです。ぼくがマラソンの練習で道路を走っていると、たぐさんのゴミを見つけます。それらのごみが海に流れ出れば、海を汚し、きれいな海を取り戻すことはとても難しくなります。

このように、一人一人がゴミ問題を自分のこととして考え、行動することがとても大切です。一人一人がフアイバーを心がけることで、ゴミ問題を改善することができます。みなさん、地球の環境を守るために一人一人ができることに取り組んでいきましょう。



食品ロスについて



江川小学校 6年
五十嵐 歩音

「もつたいたい。」

僕は、夕ご飯の前にお菓子をいっぱい食べてしまい、ご飯を残してしまつたことがあります。その時、母に、「せつかく作つたのにもつたいたいでしょ。」と言われてしまいました。僕は、「だつてどうしてもし食べ切れないし仕方ないよね。」と思いました。

ある日、テレビを見ていると、外国人が、レストランでまだ食べられるスパゲッティを捨てているニュースが流れてきました。その時は、僕も母と同じように、「もつたいたいな。」と思いました。

皆さんは、「食品ロス」という言葉を知っていますか。食品ロスという言葉は、いらなくなった食べ物、食べ残しを捨ててしまうことです。僕は、なんでそんなことが起きてしまうのか疑問に思つたので、食品ロスについて調べてみることにしました。

た。

日本では、どのぐらい食品ロスがあるのでしょうか。日本では、年間約六百二十万トンもの食品が捨てられていることが分かりました。これがかどれぐらいの量なのか、分かりやすく例えると、東京ドーム五杯分に相当します。東京ドームがいっぱいになるぐらいの量が、五個分となると相当な量であることが分かりますね。その事実を知り、僕はものすごく驚きました。では、世界ではどれくらい食品ロスがあるのでしょうか。調べてみると、世界では、年間約二十五億トンも食品ロスがあることが分かりました。この量は、日本の約四百八倍に相当します。僕は、これだけの食品を捨てていることに、驚きよりも怒りを感じました。このまま食品ロスが進むと、どうなってしまうのでしょうか。捨てられた食品は、処分する際に余分な二酸化炭素を出し、地球温暖化を引き起こす原因になることが分かりました。地球温暖化の影響で、魚や作物が採れなくなっているそうです。また、南極では氷が解け出して、ペンギンの住む場所がなくなつてきているそうです。さらには、作物が採れなくなることにより、飢餓で命を落とす人が増えることが分かりました。

僕は、食品ロスの問題が地球温暖化につながり、人の命をうばつてしまふことが分かりました。では、どれぐらいの人が飢餓で命を落としていようか。世界では、一日に四〇五万人、年間で千五百万人以上の人が亡くなつており、そのうちの七割が子供達だと言われています。僕は、食べ物が無くて困つたことはありませんが、世界中には多くの子供が食べられずに命を落としてしまつていくことを知り、悲しい気持ちになりました。そこで、「自分達にできることは何だろう。」と考えました。

まずは、毎日の食事で、食べ物を残さないようにすることです。ご飯の前にお菓子を食べすぎないようにしたり、食べ切れる量を分けたりするということ。次に、外食する時に、注文しすぎないことです。どうしても食べ切れず、残してしまつた時には、持ち帰りできるか聞いてみると思います。

僕たち一人一人にできることは小さなことだけど、皆でやれば大きなことにつながっていくと思います。すべての人が食べることに困らない世界にするために。

男女平等な社会へ



榎原小学校 6年
湯田 美漣

いろいろな事を協力していけば良いなと私は思います。

次に、みなさんはジェンダー教育という言葉を知っていますか。ジェンダー教育とは、「性別にとらわれず、全ての人の人権を尊重する態度を育むもの」です。そもそもジェンダーとは、社会的・文化的に作られた性を意味しています。近年では、SDGsの中の「ジェンダー平等

を実現しよう」という目標が入り、世界的に性別の壁をなくす動きが高まっています。けれど、「なぜジェンダー教育が必要なのか」「どのような取り組みをしているのか」疑問がわきました。

私は、インターネットを利用して、疑問に思った事について調べました。まず、ジェンダー教育が必要な理由は、社会全体がジェンダー平等ではないからです。特に、日本はジェンダー平等に大きな課題を抱えています。性別による偏見や固定概念は、子供の時に、学校や家庭で受けた教育の影響が大きいと言われています。

では、日本はどのような取り組みを実施しているのでしょうか。文部科学省では、二〇一五年に「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施等について」を発表しました。「自分が認識してい

る性別の制服や衣服の着用・着替えの時は保健室、多目的トイレ等の利用・宿泊体験や修学旅行などで、一人部屋の使用、入浴時間をずらす」などの事例が挙げられています。このように、一人ひとりが認識する性別を尊重し、多様な対応をするよう呼びかける取り組みが実施されています。

学校は個々の対応だけではなく、周りの人や保護者に理解してもらおうよう対策する必要があります。日本に求められているのは、「学校・家庭・社会が一丸となって、ジェンダー教育に取り組み環境づくり」なのではないでしょうか。確かに、まだ日本にはジェンダーに関する課題は多く残っています。けれども、少しずつ改善されている点もあると、生活して感じていたことがあります。

一つ目は、「性別を基準に色を決めない」です。最近性別を基準に色を決めることが少なくなつたような気がしています。数十年前は、男の子は黒系、女の子は赤系のランドセルが一般的でした。しかし、今は多様化しています。性別関係なく、「黒・茶・緑・紫・青・赤・ピンク」など、自分の好きな色のランドセルを背負って登下校をしています。

二つ目は、学校での呼び方を「さん」に統一する」です。そのような

呼び方をしている学校もあり、先生だけではなく、子供同士も「さん付け」で呼ぶルールがある学校もあります。今現在も、女の子だから「○○ちゃん」男の子だから「○○君」と当たり前と呼んでいる人も多いのではないのでしょうか。しかし、ジェンダー平等の視点から考えると、ふさわしくないといえます。

このように、日本は、ジェンダーに関する課題が改善されている部分があれば、まだ課題になっている部分もあり、世界と比べると性別の格差が根付いているのが現状です。私は、このような課題を解決するために、ジェンダー教育はとても必要で欠かせないものであると考えています。大切なのは、性別にとらわれず、自分らしく生きることや固定概念を疑い、日常生活に隠れたジェンダーの偏見にしばらくられないことが大切だと思っています。

日本は、世界の取り組みをヒントにしながら、日本のジェンダー教育をさらに充実させる必要があるのではないのでしょうか。

必要があるのではないのでしょうか。



あいさつの大切さ

旭田小学校 6年
弓田 心響

「お はようございます。」
私の一日は、この一言から始まります。朝、登校してこの一言を交わすと、私自身、「今日一日がんばるぞ」という気持ちになります。あいさつは、ほんの短い言葉ですが、たかさんのパワーをくれる魔法の言葉です。私は、あいさつにはどんな力があるのか改めて考えてみました。

一つ目は、気持ちを素直に伝えることができることです。「おはようございます」は朝起きて元気だということ。「ありがとうございます」は感謝を表していること、「ごめんなさい」は謝っていること。その他にもたくさんあります。「こんにちや」「いただきます」「おやすみなさい」などあいさつがなかったら自分の気持ちがうまく相手に伝わりません。「あいさつ」という漢字には、「心を開き、その心に近づく」とい

う意味があるそうです。気持ちを伝え合うことで、人と人との心がつながり、よい関係を築くことができるのだと思います。

二つ目は、仲良くなるきっかけになるということです。私は、母のすすめで四年生から会津若松市のサッカークラブチームに入っています。当時は、下郷町から来ているのは、私だけで知っている人はだれもいませんでした。とても不安だったことを今でも覚えています。しかし、「こんにちは。」

と元気に声をかけられたことで、緊張がほぐれ、話すきっかけとなりました。その後も何度もあいさつを交わすことで、だれに対しても声をかけるハードルが下がり、たくさん会話することができるようになりました。あいさつで友達の輪が広がるのだと感じました。

このように、あいさつには人と関わる上でとても大切な役割があります。けれども、最近、友達とすれ違った時やバスをおりる時など友達や運転手さんに聞こえないような小さな声であいさつをしたりしている場面を見かけました。あいさつを交わすことがなくなってしまうのは、とても悲しいことです。そればかりか、「なぜ、あいさつをしてくれなかったのかな」「今日は、気分が悪

いのかな」と心配し、暗い気持ちになってしまいます。そして、六年生としてそれを何とも感じないような学校にはしたくないと強く思いました。

私は、今、代表委員として旭田小学校をよりよくするためにいろいろな活動をしています。その中でも、みんなのあいさつがもつと広がるように次のような取り組みを考え、実践しています。

まず、全校生が「あいさつの合言葉」を意識することです。私たちの学校には、あ・き・ひ・だの頭文字を取った「あいさつの合言葉」があります。一度やってみます。

「あ、明るく」

「き、さわやかに」

「ひ、ひとみを見て」

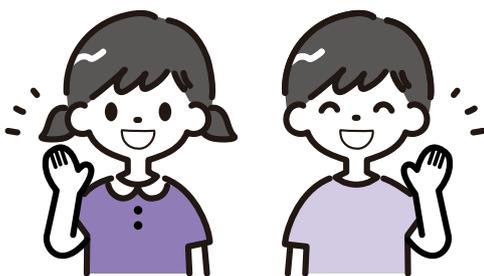
「だ、だれにでも自分から」

どうですか。すてきな合言葉ですね。元気な声で相手にあいさつすること、言った本人はもちろん、言われた人も気持ちよくなると思います。そして、相手の目を見ることで気持ちが伝わりやすくなります。はずかしくて目をそらしてしまったり、見なかったりすると「本当はやりたくないのかな」と思われてしまうかもしれません。この合言葉のようないさつを自分から進んで相手より先に言えるようにしていきたい

です。そして、あいさつ名人をみんなで選び、代表委員会より表彰したいと思います。

家族同士でも、学校や地域の中でも、スポーツの大会に出た時でも、いろいろな場面です。人との関わりがあります。その都度、出会う人に「おはよう」「ありがとう」「さようなら」など自分の気持ちを言葉にして伝えることはとても大切です。あいさつは、自分自身を表現し、人とつながることができるものです。だから、これからも明るくさわやかに、あいさつをしようと思います。

「みなさん、こんにちは。」



青少年の主張 優秀賞

中学生の部

ジェンダー平等を
実現するために



下郷中学校 1年
五十嵐 美空

皆さんは、ジェンダー平等という言葉を知っていますか。ジェン

ダー平等とはひとりひとりの人間が性別に関係なくあらゆる物事に対して平等に生活することができるという意味です。私は、このジェンダー平等が現代の日本の中で一番問題なのではないかと考えました。実際に世界と比べて日本はどのくらい平等が達成できているのかを調べてみました。

世界から見た現在の日本の順位は百四十六カ国中百十六位でした。これは、ほとんど達成できていないということなのです。その中でも特に問題なのが、経済や政治に関する部分です。私の好きなドラマでも、女性というだけで受験に落とされたとい

う内容のものがありません。ドラマでも取り上げられるほど、現代の日本はジェンダー平等が不十分だと思いい、この問題についてさらに調べてみることにしました。

私は、現代が男性も女性も嫌なことがなく、楽しく過ごせるようになってほしいと思います。女性というだけでセクハラをされたり、能力を決めつけられたりすることはとてもおかしいことです。実際に、女性でも男性よりも仕事ができたり体力があつたりする人はいます。そのような現実がある中で、差別が起こっているということは、まだそこまで理解が十分ではない人がたくさんいるということなのです。そのような考えの人がいる状態では、この問題は解決できないのではないのでしょうか。

ところで、今は女性の例だけを挙げていましたが男性側から見たらどうでしょう。女性だけでなく男性側も思うところはあるのではないかといい調べてみました。あるジェンダー平等のアンケートでは「男性の方が優遇されているか」という質問で女性の回答者に比べて男性の回答者は約三分の一の人が男性の方が優遇されていると思っていなかったのです。このことから、ジェンダー平等と言ったら女性側の視点だけではなく、男性側の視点からも考えるべ

きだと思いました。

私が小学生の時に学校周辺をきれいにするために掃除をするという授業がありました。その授業のときに先生から「女子は掃除、男子はゴミ運び」という指示がありました。その時、なぜ女子はゴミ運びができないのだろうと感じました。男子の中にもあまり力がなく、重いものを運ぶことが大変だと感じる人もいたと思います。男女という性差だけで役目を決めていくのはどうかと考えました。

さらに、世界で一番ジェンダー平等が進んでいる国のアイスランドについて日本とはどんな違いがあるのか、検索した情報を基にして考えてみました。まず、一番大きな違いは男女の議員数や管理職の割合と収入の差です。アイスランドでは、女性管理職の割合は約四十五パーセントあるのに対して、日本はわずか十二パーセントしかありませんでした。私は、三十三パーセントもの差があることに驚きました。議員数で見ると、アイスランドは、約四十八パーセント、日本は十パーセントとなつており、三十八パーセントもの差があることが分かりました。とてもジェンダー平等には程遠いと思いませんか。

私は、このことについて調べるま

で女性の議員の割合や管理職の割合など全然知りませんでした。このことを知ってもっといろいろな知りたいたいと思うようになりました。『自分が女性だから』というのは関係なく、他に男女でどのような格差があるのかということを知れば、自分が将来働くときに役立つことがあるのではないかと思います。

最後に、私は女性も男性も嫌なことがなく、楽しく過ごせる世の中になつてほしいと考えています。そして、これからの日本にはもっとジェンダー平等になるような考え方やジェンダーへの理解が広がってほしいと思います。



下郷町のゴミ0を

目指して

下郷中学校 2年
小山 美来

「下郷町にゴミを捨てないで！」
私は、下郷町にゴミがた
くさん捨てられているのを見て、悲
しい気持ちになります。

みなさんは、ゴミをポイ捨てした
ことはありませんか。私は、わざと捨
てたことはありません。ですが、気
づかないうちに、もしかしたら、自
分もゴミを捨てているのかもしれない
なと思うことがあります。なぜな
ら、私の家はかなり山奥にあるので
すが、道路のわきや、道路の下のほ
うまでゴミがたくさん捨てられてい
るのを見たことがあるからです。こ
んなに山奥なのにどうしてたくさん
ゴミが散らかっているのだろう、も
しかして自分が知らないうちに捨て
ているのではないかという思いに駆
られました。見かねた私は、妹を連
れて一緒にゴミ拾いをしました。大
きな袋を持って行ったのですが、拾

い切らないうちにいっぱいになって
しまいました。また、道路の下のほ
うまでゴミがあつて、とてもすべて
拾うことはできませんでした。ゴミ
の中には、古いものから、つい最近
捨てられたと思うものまでたくさん
ありました。驚いたのは、ペットボ
トルや空き缶、プラスチック類が捨
てられているだけでなく、フライパ
ンやタイヤまでも捨てられていたこ
とです。もはや、粗大ゴミです。ま
た私の家の近くだけでなく、国道沿
いなども、車で通るたび、たくさん
ゴミがあるなと思います。自分が住
んでいるすぐ近くまでゴミがたくさ
んある状況に、悲しい気持ちでいっ
ぱいになりました。

私は、この下郷町にゴミがたくさ
んあることについて、ゴミを捨てる
原因、つまり、ゴミをポイ捨てる
人の気持ちを考えてみました。

一つ目はゴミを処分することが面
倒くさいのかなと思います。わざわ
ざ家に持ち帰るのが面倒だったり、
ゴミがたくさん出たりして、ポイ捨
てするのではないかと思いました。
二つ目は、「ゴミが捨ててあるか
ら、自分も捨ててもいいや」という
感情で、ゴミは捨てられていくかも
しれないと思いました。ちよつとく
らい捨てても大丈夫、みんなやつて
いるから、という軽い気持ちで捨て

てしまう人が多ければ、ポイ捨てに
よるゴミは増える一方だと思いまし
た。

実際に、ゴミを捨ててしまうと悪
影響がたくさんあります。私は犬を
飼っているのですが、犬の散歩をす
るときにゴミがあると犬が勝手に食
べてしまうことがあります。それが
たばこの吸い殻やプラスチックだと
犬に有害です。ですが、この問題に
ついて一生懸命に取り組んでいる
ところもあります。私の妹は小学校
でSDGsや、ゴミ問題について
たくさん勉強したり、学校周辺のゴ
ミ拾いを頻繁にやつたりしていまし
た。地域の問題について関心を持ち、
自分たちの力でそれを解決しようと
する取り組みはとてもすてきだと思
います。

私は、一人ひとりがゴミを捨てな
いことを意識すれば、捨てない人の
分だけゴミは減っていくと思いま
す。ゴミを捨てているのは皆さんで
はないかもしれませんが、しかしこの
問題を他人事にはいけないと思
います。自分たちが住んでいる下郷
町を、少しでもゴミがない街にした
いと思うなら、これからもゴミを捨
てないでほしいと思います。下郷町
は自然が豊かで、観光名所もたくさ
んあるすてきな街です。ですが、ゴ
ミがあることで、観光客が少なく

なってしまうたら大変です。ゴミを
捨てているのは観光客の方にもい
るかもしれません。ですが、観光客の
人たちが捨てたゴミも、自分たちが
きれいにしなければ、ゴミは減つて
いきません。私たちの手で、下郷町
をゴミ0の街にしましょう。ゴミは
自然環境、めぐれば、私たちにも悪
影響を及ぼすものです。私たち人間
が生み出したものは人間にしか戻せ
ません。私もこれからゴミ拾いを
やつたり、ゴミを捨てたりしないよ
うにさらに気を付けたいと思いま
す。美しい下郷町を守るために。

不安をこえてゆく

下郷中学校 3年
芳賀 奏太

「将来の夢は何ですか」
「どんな仕事につきたいです
か」

中学校三年生にもなると自分の将
来について考える機会が多くなっ
ていきます。そんな中で、最近僕は

教師という仕事に魅力を感じていません。下郷中学校で教えて下さる先生方は、何でも知っていますし、聞かれたことに対してすぐに答えてくれる姿は本当に憧れます。

また、数ある仕事の中で唯一子どもの教育に関われる仕事で、一緒になって様々なことに取り組めるところは、やりがいを感じられるのではないかと思います。

そんな僕ですが、教師になつてみたいと思う反面、なりたくないとも思っています。言っていることが矛盾していて「何言ってるの?」と思うかもしれません、実際そうなのです。

教職員を目指す上で、自分にとっての「壁」は、三つあります。一つ目は、大幅に過労死ラインを超えている労働時間と多すぎる残業時間です。調べてみると連合総研が二〇二二年に実施した公立学校教員へのオンライン調査では、月平均百二十三時間の残業で、過労死ラインとされる八十時間を大きく上回っていることが分かりました。一日に直すと約四時間です。僕らの学校が八時には始まり、放課後の部活が終わるのは一八時半。教師はそれより早く学校には来て、帰りもそこから自分の仕事がスタートします。残業時間も含めると十四時間越え。一日

の半分以上になります。

「でも、残業時間が多いのは残業代がたくさん出るからいいのでは?」と思う人もいるかもしれませんが、しかし、これが僕の考える二つ目の壁です。そもそも教師に残業代はありません。その代わりに教員給与と特別措置法と呼ばれるものがあるそうです。これは、残業代の代わりに月給の四%を教職調整額として支給するというものです。中学校教員の月給が大卒一年目で約二十一万円程度なので、四%となると八千四百円くらいしかもらえないのです。「おかしい」と口に出したいくらいおかしい。月百二十三時間の残業で一日のアルバイト代くらいしかもらえないのです。もちろん、教員の全員が百時間以上残業しているわけではなくはありますが、少なすぎるのではないかと思います。

最後の三つ目の壁は、融通の利かない勤務地です。小学校のころ僕の担任の先生は学校に来るまで片道約五十kmの道を毎日通っていました。必ず遠くなるのは限りませんが、いくらなんでも遠すぎる気がします。さらに、残業時間の関係も含めると、通勤時間が増えればその分仕事ができる時間が削られていくため、多忙化に拍車がかかるのではないのでしょうか。僕だったら、一日忙

しく働いた後に、長い時間かけて帰るのは本当につらいし、運転中に眠くなつて事故を起こしてしまつたら元も子もないと思います。

と、ここまで教員になるための壁について話をしてきましたが、今話した壁を考慮しても、教員の仕事はやりがいがあると思います。小学生や中学生の大切な時期に、教育に関われるのは先生という職業だけです。

教職員は、多くの人が定年を迎え減少傾向にあり、さらに七十五%の学校が人員不足しているといわれているそうです。不足している理由は、僕みたいにやってみたいけどやっていけるか不安で、挑戦できない人もいのではないかと思います。この問題を解決しないと教師の人数が減っていく、日本の子どもたちの学力がどんどん低下していくのではないのでしょうか。早くこの問題を解決するために、教師の労働を見直していかなければいけないと思います。僕自身も願っているだけでなく、不安を乗り越えて、自分のできることを頑張っていきたいと思っています。

※掲載された作文の内容は原文のママです。



▲トップバッターを務めた小山巨さん



▲主張発表をする芳賀奏太さん



▲作品コンクールの表彰を受ける弓田心響さん

令和5年度 青少年健全育成作品コンクール入賞者

＊標語

(小学生の部・5年生)

賞	氏名	内容	学校
最優秀賞	わたなべ 渡部 にこ	ジェンダーレス 下郷町が お手本に	旭田小
優秀賞	こやま 小山 かげる 駆	町おこし ぼくらの力で 明るい未来	江川小
	のや 野矢 ゆづき 月	始めよう 笑顔とともに あいさつを	檜原小
佳作	やまうち 山内 ひなた	ありがとう その一言で 笑顔の輪	江川小
	わたなべ 渡部 めい 芽奈	マスクとれ すてきな笑顔 あふれ出す	江川小
	わたなべ 渡部 れな 奈	わるぐちは 言われた人が かなしむよ	檜原小

＊ポスター

(小学生の部・6年生)

賞	氏名	内容	学校
最優秀賞	ゆみ 弓田 こころ 心響	あいさつは「心」をひらく 第一歩	旭田小
優秀賞	いがらし 五十嵐 あると 歩音	傷つけてるの知ってますか?	江川小
	たま 玉川 せな 奈	ポイ捨てはだめ!!	檜原小
佳作	さとう 佐藤 ほんな 奈	男女共同参画を目指そう!	旭田小
	ほし 星 るい 生	押す前に確認を!	江川小
	わたなべ 渡部 くれあ 侖愛	席をゆずる思いやり	檜原小

＊標語

(中学生の部)

賞	氏名	内容	学年
最優秀賞	さいとう 斎藤 あやな 綾奈	スマホより 家族と団らん 楽しいな	1年
優秀賞	しらいし 白石 そら 良	考えて 自分の言葉 大丈夫?	3年
	わたなべ 渡部 ももこ 桃子	SNS 今の一 もう消せない	2年
佳作	いがらし 五十嵐 りょう 遼	もうやめろ スマホとずっと にらめっこ	3年
	きた 北 しん 心	動きだせ 男女差別のない 社会	1年
	わたやま 和田山 りな 理菜	善悪か クリックまえに 深呼吸	1年

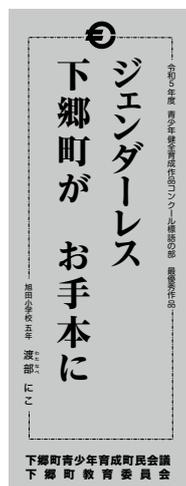
＊ポスター

(中学生の部)

賞	氏名	内容	学年
最優秀賞	しらいし 白石 そら 良	その言葉大丈夫?	3年
優秀賞	しらさわ 白澤 りむ 夢	スマホは二の次 命が大事	3年
	わたなべ 渡部 ひゅうが 彪雅	暗いところでのやりすぎ注意	3年
佳作	きた 北 しん 心	スマホに脳が支配される	3年
	ふじ 藤原 みゆ 結	自分の充電忘れずに	2年
	さとう 佐藤 まま 真緒	あなたの一言で相手の心に 傷つく	2年



標語 中学生の部 最優秀賞
下郷中 斎藤 綾奈



標語 小学生の部 最優秀賞
旭田小 渡部 にこ



ポスター 中学生の部 最優秀賞
下郷中 白石 壮良



ポスター 小学生の部 最優秀賞
旭田小 弓田 心響